

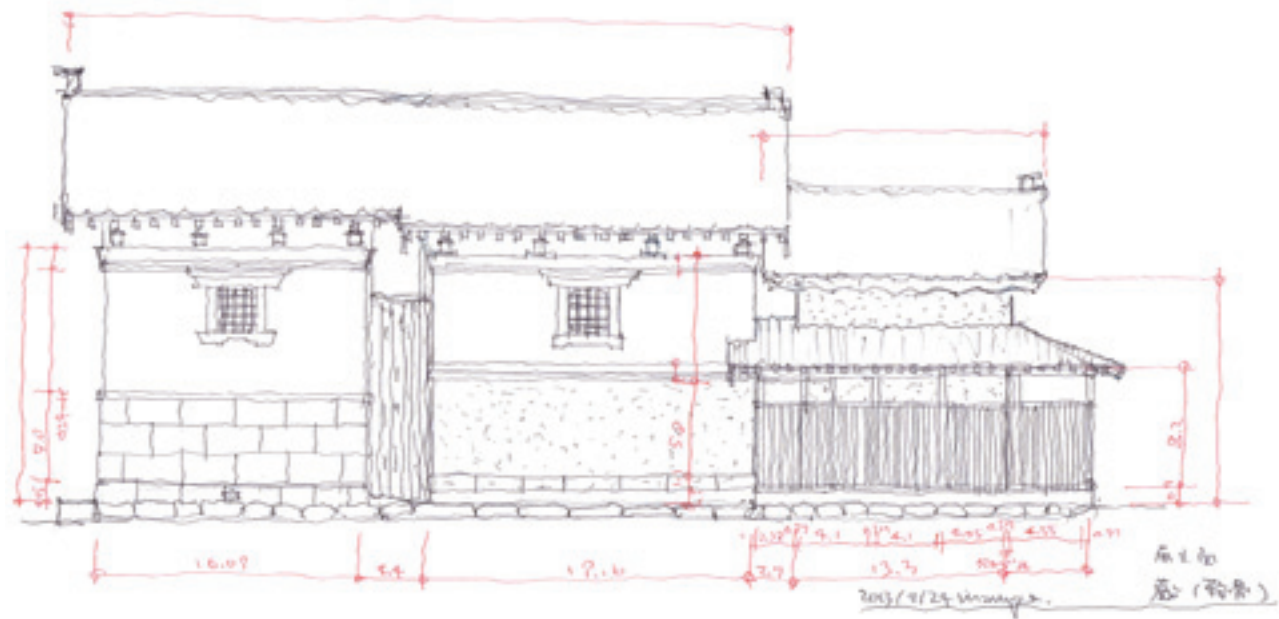


教員名：
丸谷 芳正
Yoshimasa Maruya
専門分野：
インテリア・プロダクト・家具・木材

氷見市仏生寺蔵骨地区蔵・納屋の調査の実測スケッチ

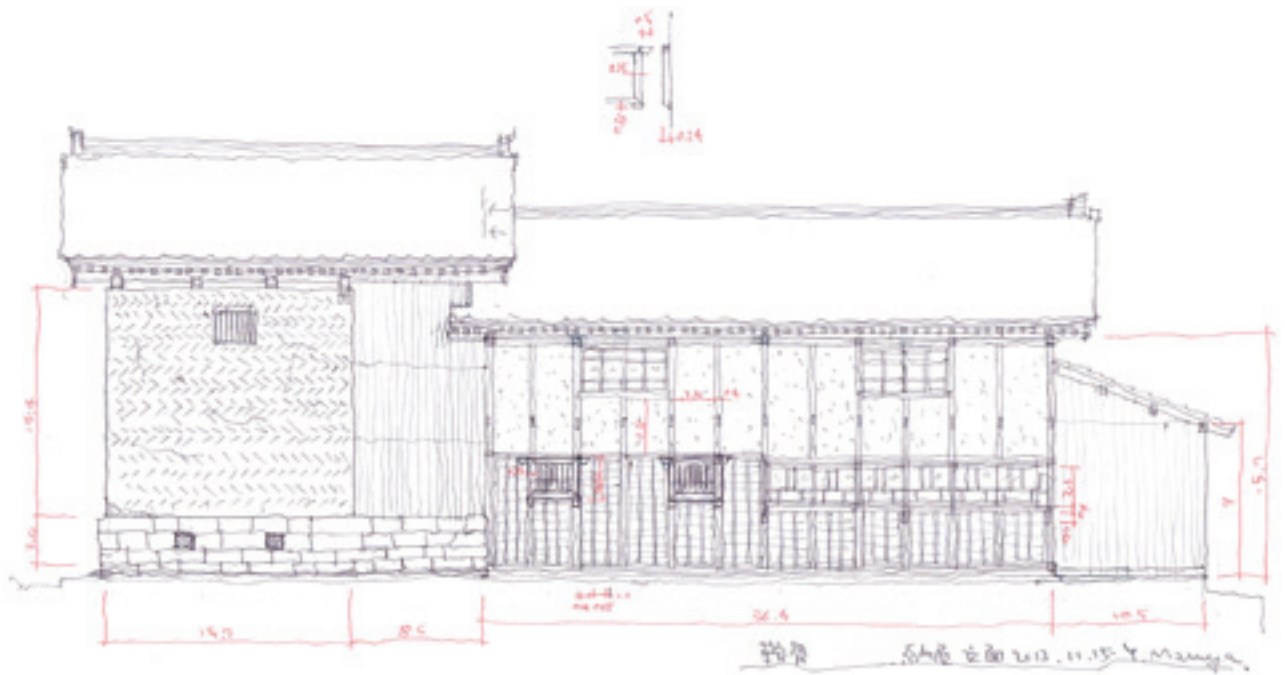
氷見市仏生寺蔵骨地区には古くから利用されてきた蔵や納屋が多く残る。能登半島の付け根にあたる氷見は豊かな田園と穏やかな里山林が氷見市特有の里山景観を形作っている。しかしながら、能越道の開通による周辺環境の変化、少子高齢化による小学校の廃止や後継者不足は美しい景観の存続を危うくしている。

蔵は切妻置屋根、漆喰または中塗り、納屋は切妻平入り黒瓦、中塗り土壁または板壁となっている。納屋の入り口内法を上げ車庫としている改造例もあったが、当初の姿を保っているものが多かった。(調査数は蔵9棟、納屋8棟)



①S家 蔵 (左より道具蔵、米蔵、味噌蔵) 2013/9/24





②D家蔵・納屋 2013/11/15

